



初夏の田園風景 (大蒲原地区)

◆目次	ページ
第3回 4月臨時会	2
当局報告	2
第4回 6月定例会	3
委員会審査報告	
総務文教常任委員会	4
市民厚生常任委員会	4
建設産業常任委員会	5
一般質問	
10人が市政を問う	6～9
請願	9
発議	9
主な議案の 議決結果・概要	10・11
編集後記	12

暑さ厳しき折、市民の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

さて、四月二十一日に開催された臨時会では、条例改正等の専決処分のほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を含めた一般会計補正予算などが当局より提案され、慎重審議の結果、いずれも承認、可決されました。また、六月十一日から二十八日まで開催された六月定例会では、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業などを盛り込んだ一般会計補正予算など当局提案議案十三件に加え、請願一件、議員発議三件などを審議し、可決、採択いたしました。

さて、四月二十一日に開催された臨時会では、条例改正等の専決処分のほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を含めた一般会計補正予算などが当局より提案され、慎重審議の結果、いずれも承認、可決されました。また、六月十一日から二十八日まで開催された六月定例会では、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業などを盛り込んだ一般会計補正予算など当局提案議案十三件に加え、請願一件、議員発議三件などを審議し、可決、採択いたしました。

## 議長室から



議長  
林 茂

令和3年第3回

# 4月22日 臨時会

## 新型コロナウイルス対応事業に 関する予算など7議案を審議

令和3年第3回臨時会が4月22日に開かれました。  
慎重審議の結果、条例の一部改正及び特別会計補正予算に関する6件の専決処分を承認し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの補正予算について可決しました。

### 主な議案の議決結果・概要【第3回 4月22日臨時会】 【○：賛成, ●：反対, -：欠席】

提出者	審議案件	本会議議決結果	議員名(議席番号順)																			
			1 佐藤 良徳	2 山田 正良	3 波塚 静亮	4 松川 徹也	5 深井 邦彦	6 桑原 一憲	7 白井 妙子	8 今井 博	9 安中 聡	10 佐藤 浩	11 長谷川 政弘	12 伊藤 昭一	13 佐藤 利栄	14 牛腸 良民	15 鈴木 政一	16 熊倉 雄吾	17 剣持 貢	18 羽下 周夫	19 阿部 茂	20 林 茂
市	議第36号 専決処分の報告承認について(五泉市税条例等の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第37号 専決処分の報告承認について(五泉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第38号 専決処分の報告承認について(五泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第39号 専決処分の報告承認について(五泉市介護保険条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長	議第40号 専決処分の報告承認について(令和3年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算(第2号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第41号 専決処分の報告承認について(令和3年度五泉市介護保険特別会計補正予算(第2号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第42号 令和3年度五泉市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 法律に特別の定めがある場合を除く外、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わりません。

## 当局報告

市長から次のとおり議会で報告を受けました。

### ◆新型コロナウイルス感染に係る馬下保養センターの対応について

令和3年 第4回

# 6月 定例会

## 補正予算など17議案を審議

令和3年第4回6月定例会が6月11日に招集され、6月28日までの18日間の会期で開催されました。

初日の11日は、会期の決定、議長報告、繰越計算書の報告に続いて、一般会計補正予算案（第2号）などを審議・可決した後、市政一般に関する質問の一部を行いました。

2日目の14日は、引き続き市政一般に関する質問をすべて行った後、初日に可決した一般会計補正予算（第2号）を除く議案9件を一括議題として当局の提案説明を行い、議案に対する質疑後各常任委員会に付託しました。また、請願1件を所管常任委員会に付託しました。

最終日の6月28日は、委員会付託案件について各常任委員会の審査報告に続いて採決が行われ、それぞれ可決しました。その後、人権擁護委員の推薦に関する人事案件2件、日程追加された市長からの追加議案1件と議員発議2件などを審議・採決して閉会しました。

### 6月定例会の日程

月 日	内 容
6月11日(金)	本会議（開会、会期決定、議長報告、議案審議、一般質問）
14日(月)	本会議（一般質問、議案上程、質疑、委員会付託、議長報告）
17日(木)	総務文教常任委員会、建設産業常任委員会
18日(金)	市民厚生常任委員会
28日(月)	本会議（委員会審査報告・採決、議案審議、採決、閉会）

## 五泉市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.gosen.lg.jp/parliament/index.html>

市議会ホームページには、議会だよりや議員名簿、議会の予定・議決結果など、五泉市議会の情報を発信しています。

また、「会議録検索」をクリックすると、市議会の本会議での会議録を閲覧することができます。



スマホでも！  
タブレットでも！



# 総務文教常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎佐藤 浩 羽下 貢 牛腸 利栄 山田 正良  
 ◎鈴木 良民 剣持 雄吾 安中 聡

## 緊急雇用事業について

【総務課】

問 百三万千円の増額は、新型コロナウイルス感染症の影響により失業者等をパートとして二人採用するものとの説明を受け、こういった時世であり、大変重要な事業である。今後さらに拡大してもらいたいと思いますが、いかがか。

答 当初予算で三人分をお願いし、現在二人を任用している状況です。今回の補正で想定している業務は農林課に関するものですが、今後の推移を見ながら、再度必要の状況になれば、対応していきたいと考えています。

## 財産管理費について

【財政課】

問 市有財産である旧給食センター用地の売却を進めるために必要な費用として、測量等委託

料五百三十九万円と、土地開発基金の給食センター用地買戻しに係る用地購入費八百五十一万九千円であるとの説明を受け、売却予定面積について伺う。

答 市の普通財産の土地が約二千九百平米、その裏に土地開発基金として管理している土地が約千七百平米、これを合わせて四千六百平米ほどを売却します。

問 現在その土地には建物が残っているが、売却の仕方や、売却価格の設定はどのようにするのか。

答 土地を購入する方から建物を取り壊してもらう条件を付けて、入札する方法を考えています。建物の取り壊し費用相当分については、都市整備課の技師へ積算を依頼し、設計を組んでもらって金額を算出していきたくて考えています。

(◎委員長 ○副委員長)

# 市民厚生常任委員会 審査報告

(主な質疑)

◎熊倉 政一 長谷川政弘 松川 徹也 佐藤 良徳  
 ◎白井 妙子 深井 邦彦 波塚 静亮

## 個人番号カード交付事業について

【市民課】

問 カードの交付数を伺う。

答 五月末時点で一万千六百四十九人、交付率で二三・四%です。

問 カードからの個人情報漏れの懸念について伺う。

答 カードには、住所、氏名、性別、生年月日のみ記載されており、仮にカードを使用することになった場合でも、専用回線になっているので外部に情報が漏れることはないと考えています。

## 社会参加促進事業について

【高齢福祉課】

問 集会施設等改築補助金の今年の要望数及び過去の実績について伺う。

答 今年には四件の要望があり、昨年は三件実施し、それ以前は一件くらいペースで実施されています。まだ改修の済んで

いない集会所もあるかと思うので制度の周知をしていきたいと考えています。

## 保育園等運営事業等に

【こども課】

問 園内の消毒作業を行う時、園外勤務手当を追加するとの説明を受け、園内の消毒は誰が行っているか。

答 保育士が行っており、特にクリスマス会や運動会、作品展、親子参観等行事のあるときは人が集まる状況になるため、消毒を実施します。その場合、勤務時間内に準備に要する時間がかかるため作業を勤務時間外にやらざるを得ない状況です。

問 親が迎えに行くタイミングでの感染リスクについてどのような対策をしているか。

答 園の中になるべく入れないようにし、玄関でのやりとりで対応しています。

(◎委員長 ○副委員長)

# 建設産業常任委員会 審査報告

(主な質疑)

## 農産物応援事業について 【農林課】

**問** 市内で生産された農産物の販売を応援するため、直売所で市内産の農産物を購入された方に対し送料の一部を補助する、との説明を受け、対象となる事業所は何か所か伺う。

**答** 現在把握している直売所は十四か所で、十月以降はラポルテ五泉の直売所も対象となると考えます。市外で五泉産の農産物を扱う直売所も事業に賛同してもらえれば対象になると考えます。

**問** 予算がなくなったら事業は終了するのか伺う。

**答** 事業の実施期間は農産物とれる十月から来年の一月末までを予定していますが、予算がなくなった時点で判断したいと思います。

**要望** コロナ禍でなかなか市内に戻ってこられない家族をお持ちの方も多く、五泉の農産物を送る場合も多くなると思われる

◎伊藤 昭一 林 茂 佐藤 博  
○桑原 一憲 阿部 周夫 今井 博

## インターネットショップ ピングモール出店支援 事業について 【商工観光課】

ので、予算が不足した際には予算を増やして対応していただきたい。

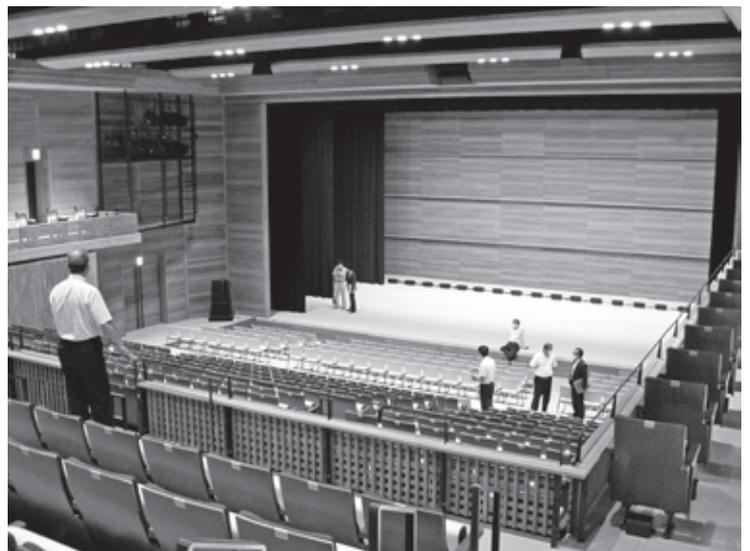
**問** コロナ禍で大きな影響を受けている市内の事業者の販路拡大支援のため、インターネットショップピングサイトの初期費用や月額費用等を補助する、との説明を受け、市内の事業者とはどういった方が該当するのか伺う。

**答** 市内の小規模事業者、中小企業者を考えています。

**問** この支援内容では、全ての事業者が成功に結びつくのは難しいと思うが、事業開始後これらの事業者に対しさらに支援する考えはあるのか伺う。

**答** 実施後、新たな課題等が生じた場合は必要に応じて、より一層の支援につながるよう検討したいと考えています。

(◎委員長 ○副委員長)



6月17・18日の各常任委員会によるラポルテ五泉視察の様子



# 一般質問

# 問 答

## 10人が市政を問う!

【一般質問とは】 各議員が市長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただすことです。「議会だより」では限られた字数で広報委員会が編集しています。

【編集方法は、本会議において各議員が行った一般質問の中から項目を1つに絞って編集を行っています。】

質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は五泉市ホームページで9月頃から閲覧いただけます。



新型コロナウイルス  
ワクチン接種会場の  
常設について

阿部 周夫 議員

**問** 新型コロナウイルス感染症が終息するまで、複合施設ラポルテ五泉を常設の新型コロナウイルスワクチン接種会場とすべきである。

コロナ禍での複合施設の利用稼働率を鑑みると、自粛や感染症拡大防止策の影響で、どの自治体の文化施設も全般的に施設利用稼働率は、非常に低い状況が続いている。当分の間は、新型コロナウイルスに関して、ワクチン接種が一番の感染防止策である。ゆえに、五泉市でも常設のワクチン接種会場が不可欠であると考えるが、いかがか伺う。

**答** 集団接種会場として総合会館中ホールとさくらんど会館において、医師会、薬剤師会などのご協力を得て、現在各会場で週二回開設している。また、五泉中央病院では、五月二十二日から一般接種を始めており、月曜日及び金曜日の午後と日曜日の午前と午後には接種を行っている。複合施設については、施設整備の目的から常設の接種会場とすることは難しい。ワクチン接種については、引き続き医師会をはじめ関係団体の協力を得ながら進めていく。



コロナ禍における  
学校教育の現状に  
ついて

羽下 貢 議員

**問** コロナ禍における登下校時や、校内での激しい運動時、教室からの移動時でのマスクの着用状況及び、濃厚接触者となった場合の校内の対応を伺う。また、障がいを持つ子どもたちや不登校の子どもたちに対し、ICT機器を活用したりリモート授業は、コロナ禍に関わらず、必要と思われるが、見解を伺う。

**答** マスクの着用は、学校内、登下校時では着用とし、体育の授業時は着用の必要はないが、十分な身体距離が取れない状況では着用とし、感染拡大防止に努めるよう指導している。児童生徒が濃厚接触者に特定された場合は原則2週間、家族がPCR検査の対象となった場合は陰性の結果が出るまでの出席停止としている。

障がい児に対しては、状況により、通常学級と特別支援学級とをオンラインでつなぎ同じ授業を受けることを可能にしているが、不登校の子に対しては、自宅で学校での授業風景をリアルタイムで配信することは、授業を受けている子どもたちの肖像権の問題から、現状での実施は難しいと考えている。



人口減少対策について

松川 徹也 議員

**問** 五泉市の人口減少問題政策と今後の新たな取組が重要と考える。移住政策の拡充では、どのような取組を展開しているのか。また、観光交流人口の拡大で五泉市の魅力を伝え、発信を図るべきと考えるがどうか。更に、若者の流出を防ぐ働く場の確保で、人口流出を防ぐべきだが、所見を伺う。

**答** 移住定住の促進として取り組んでいるウエルカム住まいる事業を利用して転入された方は、令和三年五月末現在で二百十五件、六百八十人で、また、新婚世帯や子育て世帯の住宅取得を支援するグラント住まいる事業では七十五件の利用実績があり、移住定住政策として一定の成果が得られたものと思っている。

企業誘致による新たな雇用の場の確保が必要と考えており、企業への訪問や情報収集、五泉市の情報発信などを強化している。成果として、村松工業団地に進出予定の事業所と近々進出協定の調印を行う見込みである。引き続き第二次総合戦略を基に切れ目ない取組を進め、人口減少問題並びにまちの活性化に向けて取り組んでいく。



介護福祉施設等の  
感染防止対策と  
サービス提供について

山田 正良 議員

**問** 通所介護利用者が新型コロナウイルスに感染していた場合は一定期間施設を閉鎖する。この施設の利用者で接触の薄い方がPCR検査で陰性が判明しても、ほかの施設で介護サービスが受けられない。過度に感染を恐れて正当な理由なく利用者に自粛を求めることは、関係法令や五泉市の条例に抵触することにもなりかねない。市長の見解を伺う。

**答** 国からは十分な感染防止対策を前提として必要な各種サービスが継続的に提供されるよう求められているが、一定の健康観察期間などについては保健所の指導に従っていた。あくまでも必要があると考えている。市では、各事業所でも、新型コロナウイルス感染者が発生しても、誤った情報伝達によりほかの利用者のサービス継続に支障をきたすことがないよう独自の新型コロナウイルス感染症に係る情報共有用メールリングリストを運用しており、これにより冷静な対応でサービス継続に努めていた。ただとともに、各事業所に対しても正当な理由なくサービスの提供を拒否することのないよう周知を図っている。



家庭ごみ収集の際の  
分別について

佐藤 浩 議員

**問** 新中間処理施設が令和七年四月供用開始予定であるが、それに際し家庭ごみの分別方法はどのように変わり、その広報啓発をどのようにする計画であるか伺う。また、学校教育の中の啓発をどのようにしていくのか伺う。

**答** 五泉地域衛生施設組合では、新たにリサイクル施設が建設され、現在燃えるごみとして収集しているプラスチック製の袋や容器、食品トレーなどをリサイクル資源として回収することとなる。供用開始に向け、現在対象品目や出し方の基準など、分別のルールについて構成市町の阿賀野市、阿賀町と統一を図るため調整しているところである。新たな分別の周知方法については、今年度より供用開始までの間、市内各地区を対象とした住民説明会をはじめ、学校の授業やお茶の間サロンなどで実際の商品を用いながら具体的な説明を行うとともに、市広報やホームページなども活用しながら、分別に対する理解を深めていただけるよう啓発活動を行っていきたいと考えている。



雪害対策について

安中 聡議員

**問** 昨年度の大雪によって困難に直面し、今年度積雪に不安を覚える市民がいる。住民が不安を覚えぬ除排雪計画を立て、市民にしっかりと示すよう求めるものである。過去の市民の具体的な不満の声を含めた総合的な除排雪計画を作成し、市民に配布すべきである。また、除雪が困難だった住宅地域については消雪パイプを敷設するか、いつ頃にどの順番でどこを整備するのか、消雪パイプの敷設計画をしっかりと市民に示すべきであるが、今後の計画について伺う。

**答** 毎年十一月に関係団体と雪害予防対策会議を開催し、冬期道路交通確保除雪計画を決定している。市民への周知については、広報において除雪車の出動基準や除雪作業時の注意事項などについて周知を行っている。今年度の消雪パイプの整備計画は赤海二丁目、南本町三丁目、寺沢三、四丁目地内に消雪パイプを設置する計画である。敷設替えについては、仲丁と新町地内を計画している。今後も他市町村の事例を参考にしながら研究していく。



地域資源の発掘と情報の発信について

桑原 一憲議員

**問** 五泉市の宝となり得る独自の地域資源を発掘し、所有者等と連携した企画や展示を行うべきと思う。その際、学芸員等専門知識を有する職員の活用が大切になると思うが、学芸員資格を所有する職員は何名で、資格活用制度があるのか。

また、忠犬タマ公について、主人との絆の物語として紹介され、横須賀市との交流や道徳授業の教材として知られている。一過性で終わらず、忠犬タマ公の里など観光地として整備していく必要があると考える。それとあわせて、ラポルテ五泉の情報発信のスケジュールも伺う。

**答** 資格保有の職員は数名いるが、学芸員として採用しておらず、活用制度も設けていない。

忠犬タマ公は、マスコミに取り上げられ知名度は上がってきている。本市のPRにもつながっているが、観光拠点として整備、活用の計画はない。ラポルテ五泉は、十月の開館に向け、プレ事業や内覧会など、積極的に情報発信を行い、機運を高めていきたい。



障がい者支援について

白井 妙子議員

**問** 障がいのある人も障がいのない人と対等に教育や就労の機会を得るためのサポートが必要である。また、一人一人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、地域で自立した生活を送り、生涯家族と安心して暮らしていくため、就労や生活介護が重要である。しかし、就職先がない人や生活介護が受けられないという声が聞こえる。障がい者の現在の状況及び五泉市障がい者総合支援協議会の専門部会での取組を伺う。

**答** 福祉サービスの中でも生活介護を利用されている方は年々増加しており、市内十四か所ある事業所で一月当たり平均百三十人が利用している。しかし、事業所には定員があり、新規の利用者については、複数の事業所と調整し、サービスの利用ができないことがある。また、継続的な支援を行っている。また、就労については、特別支援学校卒業後、約三十％が企業へ一般就労している。市では家族の不安やサービス利用の相談を相談窓口で受け、必要な支援、情報提供に努めていく。



聴覚障がい者の  
支援策について

今井 博 議員

**問** 高齢化が加速する中で、聞こえが悪いという難聴者が増えている。認知症や鬱病の発症が増加する起因とも言われている。補聴器が欲しいが、大変高価で買うことができないなど、普及の障害にもなっている。ようやく、全国でも地方の近隣市町村においても助成制度が導入され始めている。補聴器の普及は難聴者の日常を明るくし、健やかな健康の支えとなることが認識されてきたと思っている。そのためにも、ぜひ五泉市にも助成制度を導入していただきたいが、担当課の認識と市長の見解を伺う。

**答** 聴覚障がい者への支援策について、市ではこれまで、身体障害者手帳を交付されている方と身体障害者手帳の交付対象者とならない一八歳以下の難聴児を対象に、補聴器の購入費の一部を給付している。加齢性難聴になると社会生活に支障を来すようになることから、早めの医療機関への受診が大切であると認識している。



新型コロナウイルス感染対策について

波塚 静亮 議員

**問** 新型コロナウイルス感染対策とワクチン接種の状況、今後の対策について伺う。現在の状況やワクチン接種の現状と今後の対策についてもすでに市長の見解が出されているが、PCR検査についてはもう局面が変わっているので、高齢者施設等で感染者が出た場合の検査については、ぜひ充実した対策をとっていただきたいが、市長の見解を伺う。

**答** 高齢者施設等のPCR検査の実施については、国や県から積極的な検査の実施が促されており、各施設では、利用者の健康観察に十分留意しながら、医療機関や保健所と連携し、必要な検査を受けているところである。市としては、現在六十五歳以上の高齢者等にワクチン接種を優先的に実施している。七月末までには高齢者施設も含めて二回目の接種を完了する予定としており、引き続き高齢者の方が安心して高齢者施設を利用していただけるよう取り組んでいく。

## 請 願 に つ い て

— 次の請願を採択しました。 —

### ◆請願第2

30人以下学級実現、義務教育費国費負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願

## 発議について

— 次の発議を可決しました。 —

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、原子力規制委員会委員長

### ◆発議第4号

#### 東京電力の適格性について厳しい審査を求める意見書

柏崎刈羽原子力発電所は、再稼働に向け、原子力規制委員会による審査は終了し、東京電力による安全対策工事が進行しています。しかし、今年1月半ば以降、ID不正使用問題、工事未完了問題、そして核物質防護問題の大きな失態が明らかになりました。中には、重要施設への漏水対策の不備もあり、福島第1原子力発電所事故の教訓が全く生かされていないと断ぜざるを得ません。今般、原子力規制委員会は、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（以下「原子炉等規制法」という。）に基づく新検査制度の評価における重要度区分が、最も深刻な「赤」に相当すると強い懸念を示しました。

東京電力は新規制基準に基づく審査を申請し、設置変更許可を受けましたが、そもそも、原子力発電を行う事業者として「原子炉の設置許可」を受けるための許可基準として示されている「発電用原子炉の運転を適確に遂行するに足りる技術的能力」（原子炉等規制法第43条の3の6第1項第3号）の有無が問われる事態となっていると言わざるを得ません。

よって国会並びに政府におかれては、市民・国民の不安に真摯に向き合い、原子炉等規制法に基づき原子炉設置者に求められる東京電力の技術的能力を改めて厳しく審査するよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年6月28日

新潟県五泉市議会  
議長 林 茂

【提出先】内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

### ◆発議第5号

#### 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

子どもたち一人ひとりが大切にされ、豊かな人間関係の中で教育が行われることは保護者・地域住民・教職員共通の願いです。そのために、小中学校の全学年における30人以下学級の実現等が可能となる教育条件整備のための教育予算の確保が不可欠です。

日本はこれまで、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている状況を計画的に改善してきましたが、現在、国による教職員定数改善計画のない状況が続いています。また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫するとともに、非正規雇用者の増加などにみられるように教育条件格差も生じています。自治体が見通しをもって安定的に教職員を配置するためには、国段階での定数改善計画の策定・実行が必要です。

さらに、子どもの貧困への対応、障害者差別解消法の施行に伴う障がいのある子どもへの合理的配慮、外国につながる子どもたちへの支援、深刻化するいじめ・不登校などへの対応など、学校をとりまく状況は複雑化、困難化しています。また、学校に求められる役割は増大しています。子どもたち一人ひとりへのきめ細かな指導・学びの質を高めるための教育には、教職員定数改善が不可欠です。

新潟県では平成13年度から小学校1・2年生において、県独自で32人以下学級が導入されました。また、平成27年度からは、小学校3年生から中学校3年生まで35人以下学級が拡充され、小中全学年での少人数学級が実現しました。全国的にも少人数学級を拡大する自治体が増えてきています。しかし、小学校5年生からの35人以下学級については「1クラス25人以上」の下限設定があり、すべての学校で実現しているわけではありません。

子どもたちに豊かな教育を保障することは極めて重要です。子どもたちが全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準が維持・向上されるよう、次の事項を強く要望します。

記

1. 少人数学級を推進すること。その際の学級規模は、教職員が子どもたち一人ひとりに向き合える教育環境を整備するため、30人以下とすること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。
4. 教育の機会均等と水準の維持・向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年6月28日

新潟県五泉市議会  
議長 林 茂

主な議案の議決結果・概要【第4回 6月定例会】

【○：賛成，●：反対，－：欠席】

提出者	審議案件	本会議議決結果	議員名(議席番号順)																		
			1 佐藤良徳	2 山田正良	3 波塚静亮	4 松川徹也	5 深井邦彦	6 桑原一憲	7 白井妙子	8 今井博	9 安中聡	10 佐藤浩	11 長谷川政弘	12 伊藤昭一	13 佐藤利栄	14 牛腸良民	15 鈴木政一	16 熊倉雄吾	17 剣持貢	18 羽下周夫	19 阿部茂
市	議第43号	五泉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第44号	五泉市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第45号	動産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第46号	令和3年度五泉市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第47号	令和3年度五泉市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	●	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第48号	令和3年度五泉市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第49号	令和3年度五泉市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第50号	令和3年度五泉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第51号	令和3年度五泉市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第52号	令和3年度五泉市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議第53号	令和3年度五泉市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	長	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(齋藤 博子氏)	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第3号		人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(小柳 隆氏)	適任と認める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願者	請願第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員	発議第3号	五泉市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発議第4号	東京電力の適格性について厳しい審査を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発議第5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
定例会最終日に議第53号 令和3年度五泉市一般会計補正予算(第4号)に対する修正案が提出されましたが、本会議で採決した結果、否決となりました。																					

※1

※1 法律に特別の定めがある場合を除く外、地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わりません。

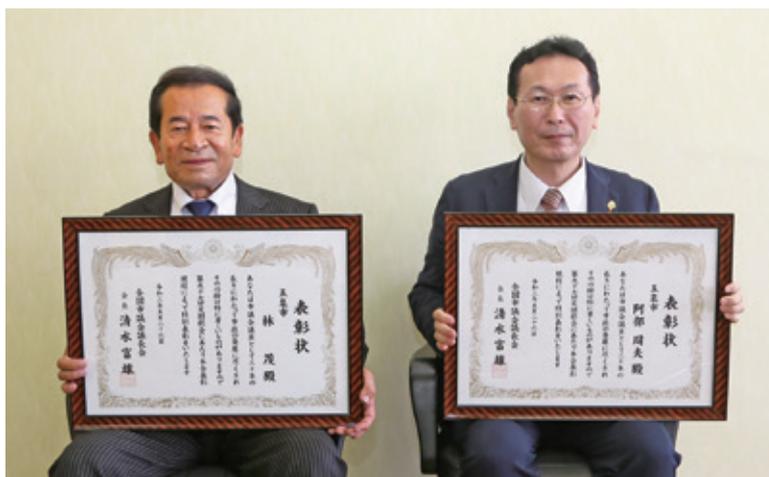
# 阿賀野川・早出川総合水防演習 (早出川左岸)



去る5月30日に行われた阿賀野川・早出川総合水防演習において、多くの消防団員等が参加し、市民の生命と財産を守るため、水害による破堤や越水を想定した月の輪工法や土のう積みなどの水防工法の習得に取り組んでいました。

## 全国市議会議長会・北信越市議会議長会から 永年勤続議員表彰

令和3年4月に長野市で開催された北信越市議会議長会定期総会及び5月に東京都で開催された全国市議会議長会定期総会において、林茂議員が30年、阿部周夫議員が20年にわたり、市政発展に尽くされた功績により表彰を受けられ、定例会初日の6月11日の冒頭に表彰状の伝達が行われました。



林 茂 議員  
(議員在職30年)

阿部 周夫 議員  
(議員在職20年)

編集後記

議会だより第五十九号は、第三回臨時会の審議結果、六月定例会で行われた議案の審議結果などが掲載されています。また一般質問では、今一番の関心事のコロナ関連の質問も多く、早期の対策が待ち望まれます。

そのような中、コロナウイルスのワクチン接種が開始となり、希望の光が見えてきました。今回の議会だよりが皆さんのお手元に届くころには、ワクチン接種も順調に進んでいると思われれます。

これからも、よりスピーディなコロナ対策、ワクチン接種が行われることを望むところであります。

■ 広報委員会

- 委員長 深井 邦彦
- 副委員長 佐藤 渉
- 委員 阿部 周夫
- 委員 鈴木 良民
- 委員 白井 妙子
- 委員 山田 正良
- 委員 佐藤 良徳

議会に関するご意見・ご要望をお寄せください。 五泉市議会事務局 TEL 0250-43-3911